《2024年7月 テーマ別選書》『犯罪被害者への賠償をどう実現するか-刑事司法と損害回復』【太田 達也 著】を4月に刊行しました。
犯罪被害者への損害賠償をどう実現するか？　犯罪被害者の損害賠償は国が建て替えるべきなのか？　犯罪とは、更生とは、償いとは何かを問う。本書はこうした現状と真摯に向き合い、犯罪者による被害者への損害賠償はどうあるべきかを様々な側面から問う。
そこで、今月は、弊社既刊本の中から、「犯罪」とNDC326「刑法. 刑事法」前後の資料を選書しましたので、棚展示などにご参考ください。

NDN－件名 ジャンル・ISBN	書影 初版刊行年月	書名・編著者名 装丁・価格・電子版有無	内容紹介
326.3 被害者 損害賠償 刑事政策 犯罪被害者支援－ 日本		犯罪被害者への賠償をどう実現するか 刑事司法と損害回復 太田 達也 著 1964年生まれ。慶應義塾大学法学部教授。博士（法学）。 日本被害者学会理事長、日本刑法学会理事、犯罪被害者等施策推進会議委員、最高検察庁刑事政策専門委員会参与、法務省法務総合研究所研究評価検討委員会委員、同犯罪白書研究会委員、一般財団法人日本刑事政策研究会理事、公益財団法人アジア刑政財団理事，公益社団法人被害者支援都民センター理事などを務める。	刑事司法制度における 犯罪被害者への損害賠償の実現に向けた提言 犯罪によって被害者は重大な経済的損害を被り、その影響は人生を大きく狂わす。しかしながら、その賠償責任を負う犯罪者が資力に乏しいことなどから、損害賠償は実現困難なものとして長らく放置されてきた。被害者の置かれている苦境や苦悩を考えると、具体的かつ実効性のある方法を模索することが必要である。現状と真摯に向き合い、犯罪者による被害者への損害賠償はどうあるべきかを様々な側面から問う。
9784766429510	2024/4/25	四六判上製480頁　本体3,200円　電子：一部取次先行	
326.3 犯罪 刑事学		犯罪学入門 ガバナンス・社会安全政策のアプローチ 小林 良樹（こばやし よしき） 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科特任教授。早稲田大学博士（学術）、ジョージワシントン大学修士（MIPP）、香港大学修士（MIPA）、トロント大学修士（MBA）。 1964年、東京都生まれ。1987年、東京大学法学部卒業後に警察庁入庁。在香港日本国総領事館領事、在米国日本国大使館参事官、警察庁国際組織犯罪対策官、慶應義塾大学総合政策学部教授、高知県警察本部長等を歴任。2019年3月、内閣官房審議官（内閣情報調査室・内閣情報分析官）を最後に退官。同年4月より現職。専門はインテリジェンス、国際テロ、社会安全政策等。	▼あなたが当事者ならどう考えますか？ ▼犯罪などの問題を専門に取り扱ったことのない読者を主な対象とした入門テキスト。 ▼類書にはない領域「ガバナンス」「社会安全政策」の観点から犯罪学の考え方や手法をやさしく解説する。 犯罪などから社会の安全をいかに守るか？ 犯罪対策を始めとする社会安全の問題は、警察や法曹関係者等の一部の専門家によって主に取り扱われてきた。 しかし、今日、専門家ではない一般国民であっても、日常生活の中で社会安全の問題に遭遇する場面は次第に多くなっており、社会安全の問題に関する自分自身の意見を持たなければならない場面も多くなっている。 そこで、①国民の視点を中心に据え、②実効性のある政策を検討するための理論枠組みであり、③多様なアクターを検討の対象とする新たなアプローチ「社会安全政策論」から、第一線の警察行政に従事してきた著者が犯罪学を案内し、社会安全政策論の考え方をやさしく解き明かす。 あなたが当事者ならどう考えるのか？　犯罪等の問題を必ずしも専門に取り扱ったことのない読者を主な対象とする入門テキスト。
9784766425949	2019年7月刊	A5判並製224頁　本体2,400円　電子：あり	

NDC	件名	ISBN	書影	書名	編著者名	刊行年	本体価格	内容紹介	電子版
326.46	執行猶予	9784766425437		刑の一部執行猶予（改訂増補版） 犯罪者の改善更生と再犯防止	太田 達也 著	2018	4,600	2016年から施行された刑の一部執行猶予制度。その本来の在り方を模索しながら、全部執行猶予の一部取消制度を検討する新章を追加し、今後の制度設計をも提唱する。研究者はもちろん実務家にも必携の書籍、改訂増補版。	○
326.8	特別刑法 特別刑法 ー 日本	9784766427042		刑事法実務の基礎知識 特別刑法入門１【第2版】	安冨 潔 著	2020	3,500	実際の刑務実務の現場で直面しやすい、経済犯罪・薬物犯罪・性犯罪関連の法律を中心に厳選し、解説した特別刑法の入門書籍。 収録法律の最新改正、最新判例を追加し、全面的に見直した第 2 版！	○
326.8	特別刑法	9784766426106		刑事法実務の基礎知識 特別刑法入門 2	安冨 潔 著	2019	3,500	「刑法」以外の各種法律に定められている刑罰法規の総称である「特別刑法」。この膨大な数に上る特別刑法のなかから、実際の刑事実務の知識として必須となるものを知的財産法、労働法、環境法等から厳選しコンパクトに解説を加えた特別刑法入門の第2巻。	○
327.6	刑事訴訟法 刑事訴訟法 ー 日本	9784766427189		刑事訴訟法講義　第5版	安冨 潔 著	2021	3,400	平成28年改正刑事訴訟法全施行後の重要判例、実務の動き、犯罪捜査規範および通信傍受規則等のその後の改正など、をフォロー加筆修正。前版や他の刑事訴訟法テキストでは分かりづらい部分をよりイメージしやすく理解しやすく解説した最新版！	―
326.81	国際犯罪 共謀罪 組織的犯罪 処罰法 刑法-イギリス	9784766428483		国際組織犯罪対策における刑事規制 処罰の早期化・犯罪収益規制とイギリス比較法	橋本 広大 著	2022	5,400	グローバリゼーションの進展により脅威を増す国際組織犯罪。コモン・ローの伝統と判例法により支えられているイギリスを比較法の対象とすることにより、処罰の早期化と犯罪収益規制に新たな理論的基盤を提供する気鋭の研究。	○
327.63	犯罪捜査 GPS 生体認証 プライバシー 法律ーアメリカ合衆国	9784766429206		犯罪捜査における情報技術の利用とその規律	尾崎 愛美 著	2023	6,500	飛躍的に進化を遂げた情報通信技術（ICT）と犯罪捜査の在方。 ――「監視型捜査」という新たな捜査の類型について、刑事法学、憲法学の考察を通じて、その統制手法を論じる進取の研究。	○
326.45	仮釈放	9784766424850		仮釈放の理論 ――矯正・保護の連携と再犯防止	太田 達也 著	2017	5,200	仮釈放から自由刑のあり方を考える。仮釈放の原理や正当化根拠に立ち返り、制度を理論的に考察。科学的検証のない政策に十分な効果は期待できないが、原理原則のない政策は無軌道となる。将来に亘って妥当性を有する仮釈放制度の理論的支柱を考察する。	○